

陶小だより

綾川町立陶小学校
令和2年12月号



画面に向かっての拍手

校長 小谷 修

キラリ発表会には、たくさんの保護者の方々にお越しいただき、ありがとうございました。コロナ禍の中での実施にあたり、各学年人替の形で実施させていただきご面倒をおかけいたしました。

キラリ発表会の午後、廊下を歩いていると「拍手」が聞こえてきました。教室をのぞいてみると午前中にあった「キラリ発表会」のビデオを大型テレビに映して見ており、学年の発表が終わったところで画面に向かって拍手をしていたのです。

当事者にはそこにはいませんが、画面を通して、相手のがんばりに拍手を贈れる子ども達は素敵だなと思いました。

今回キラリ発表会を実施するにあたり、「大声」「合唱」「合奏」での飛沫対策をどうするかが課題となりました。日本合唱連盟等の作成しているガイドラインを参考にして、「同じ方向に向いて」「前後に3m以上の間隔をあけて」等のガイドラインを作りました。これによって、ステージブラス例年のない体育館フロア面の1/3面まで使うという環境となりました。広いフロアを生かした学年発表もありました。来年は、ステージ中心の発表になると思いますが、今年よさを生かしたものにできればと思います。



1年「えがおいっぱい 大さくせん」



2年「かさこじぞう」



3年「昔と今をくらべてみると」



4年「くらしの中の和と洋」



5年「ワールドツアー」



6年「Our Future」

3学期の主な行事予定

○新型コロナウイルス感染拡大の状況から

1月22日(金)午後に予定していた授業参観を2月12日(金)午後に変更します。家庭教育学級については、本年度中止いたします。

○3月16日(火)卒業式

※新型コロナウイルス感染状況により、変更となる場合があります。

3年生の子ども達の成長を感じたキラリ発表会 —ペア学年の演技から感じたこと—

11月28日に行ったキラリ発表会では、全校生で発表を見るができなかったため、午後からそれぞれの教室で録画した演技を観賞しました。他の学年の工夫や良さを見つける中で、子ども達は様々な「キラリ」を感じ取っていました。

5年生は、ペア学年の3年生の演技を真剣な表情で見えていました。ハキハキと台詞を読み、姿勢や堂々とした演技を見る度に「すごいなあ」という声が出ていました。下級生の頑張りに刺激を受け、たくさんの感想をもつことができたようです。

<5年生から3年生への感想>

3年生は大きな声とカラフルな衣しょうで、とっても元気な発表だと思いました。

今はなんでもかん単にできる時代だけど、昔は大変だったということがよく伝わる発表でした。



1つ1つの動きがとてもよくそろっていて、何をしているのかがハッキリわかったので良かったです。昔の道具の良さや使い方がよくわかる演技でした。5年生と似ている動きもありおもしろかったです。

ぼくたちも、3年生の時に昔のくらしについてキラリで発表会をして、「ふるさと」を歌った時のことを思い出しました。3年生は自分達よりもさらに力強い声が出ていてすごかったです。



みんなで歌う時の歌声がとてもよくそろっていて、きれいでした。サビの部分で、体をゆらしながら歌っているところがとても印象的でした。